

2024年3月21日

神奈川都市交通株式会社
取締役社長 伊藤 宏様

新都市交通労働組合
執行委員長 藤井勇悟



2024年春闘要求書

相変わらずの物価高騰の中、神奈川都市交通は未だ賃上げができていない。そのため、我々乗務員の生活は圧迫されている。今回の春闘で大手は満額回答を出しているが、これは日本経済の復活を考えてのことである。神奈川都市交通も賃上げを実施し、日本経済の復活の力となるべきだ。

また、人材不足の問題も解消されておらず、魅力的な給料体系はその問題の解決にも寄与すると考える。

さらにライドシェア、アプリ専用車など、明るい材料が何もない中で我々は売り上げを立てなければならない。このような厳しい状況を踏まえ、当組合は次のことを要求する。

尚、回答は令和6年3月28日までにお願ひ致します。